

6. 充填および圧接



ポイント装着したオピアン・キャリアー・スモーターを根管口にセットし、プランジャー部をゆっくり押しして弱圧で根管充填をおこないます。



ポイントが根管内へ完全に挿入された後、プラグーを用いて根管内壁に沿ってコンデンスします。

7. 光照射

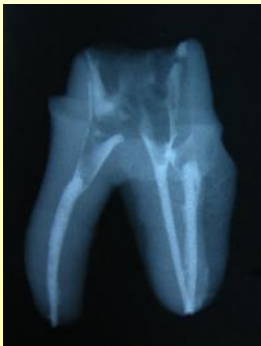


光照射器でエピファニーSEシーラーを重合します。

《重合時間について》
光照射時間: 40秒

エピファニーSEシーラーは、デュアルキュア(光・化学重合型)で、根管内のシーラーは45分で化学重合します。

8. 根管充填完了



充填完了後のX線画像。
3根管とも根尖および壁面にデットスペース無く根管充填が完了しています。根管充填治療に本システムを用いることで、根管治療を簡便かつ効率的におこなうことができます。特に上顎第一大臼歯、第二大臼歯の近・遠心頬側根および、下顎臼歯部近心根などの直視できない部位にもオピアン・キャリアー・スモーターの先端を根管口にセットするだけで、スムーズに根管充填することが可能です。

《感染根管における根管充填について》
感染根管において、根管内壁の軟化象牙質を除去することにより根管内が大きくなった場合は、オピアン・キャリアーとエピファニーSEシーラー、オピアン・キャリアー・スモーターとエピファニーSEシーラーを併用し、根尖口外にエクステンションすることなく根管充填することができます。

9. 築造窩洞の形成



オピアン・キャリアー・スモーターの直径に応じてグラスファイバーゾーンを形成します。

本ケースでは、ファイバーコアポストドリル1.00mm(ペントロン ジャパン(株))を使用。

(米国におけるエンド治療では、支台築造までがエンド治療領域と認識されています。)

10. ファイバーコア ポストの試適



ファイバーコア ポストをファイバーゾーンへ試適します(試適後は、ポスト表面をアルコールで洗浄後、シランカップリング処理を施す)。

築造窩洞内はイーライズ(ペントロン ジャパン(株))で歯面処理後、デンティンボンディング処理を施し、支台築造用レジンとの接着準備をおこないます。

11. 支台築造



支台築造用レジン ビルドイットFR(ペントロン ジャパン(株))を気泡を巻き込まないように築造窩洞内へ注入します。



光照射器でビルドイットFRを重合します。

《重合時間について》
光照射時間: 1面に対し40秒

ビルドイットFRは、デュアルキュア(光・化学重合型)で、築造窩洞内のレジン は、4分で化学重合します。

12. 完成



通法に従って支台歯形成をおこないます。

《関連材料》



ファイバーコア ポスト システム
ペントロン社のファイバーコア ポスト システムは、高い機械的特性を発揮するSタイプのグラスファイバー繊維を採用した支台築造用ポストです。専用のデュアルキュア硬化型支台築造用レジン「ビルドイットFR」との併用で、根管充填後直ちに支台築造をおこなうことができます。



エピファニー
エピファニー システムは、ソフトレジンマトリックスにフィラーおよびX線造影剤を配合したソフトレジン Resilon(レジロン)の「エピファニー ポイント/ペレット」と、優れたシーリング性能を発揮するレジン系シーラー「エピファニーSEシーラー」で構成される新しい接着性根管充填システムです。

OPIAN CARRIER SMOOTHER KIT

オピアン・キャリアー・スモーターキット



- 上顎第一大臼歯、第二大臼歯の近・遠心頬側根の根管充填に便利
- 直抜即根充の際、No.35まで根尖口を拡大することで容易に根充を完了

●オピアン・キャリアー・スモーターキット



【製品構成】



1. オピアン・キャリアー・スモーター
1.0mm / 1.1mm / 1.2mm 各1本

1.00mm、1.1mm、1.2mmの外径でそれぞれ根管の太さに応じて使用します。



3. ゲージ付 エンドピンセット 1個

根管長に応じてポイントの長さを測定できるピンセットです。ピンセットにはストッパーが付与され、ガッタパーチャーをしっかりと保持することができます。



2. ガッタカッター 1個

根管充填する時に根尖口の太さに正確にカットすることができます。



4. ガッタホルダー 1個

根管長にあったポイントをおピアン・キャリアー・スモーターに装着する際に使用するアクリルブロックです。

●操作ステップ



●No.35 リーミング根管への根充

1. スモーターの試適



《根管内の洗浄について》
根管内の最終洗浄は、表面活性剤を含まないEDTAを使用し、スモーターおよび次亜塩素酸ナトリウムを除去してください。その後、滅菌精製水にて根管を十分に洗浄し、乾燥させます。

《注意》
根管充填治療時は、ラバーダムを装着してください。また、根管治療に使用するオピアン・キャリアー・スモーター、ゲージ付エンドピンセット、ガッタホルダー、その他使用するツールは必ず滅菌・消毒してください。

オピアン・キャリアー・スモーターを試適し、スモーターの先端からストッパーまでの距離を記録します。

本ケースでは、直径1.0mmのオピアン・キャリアー・スモーターを使用しています。

2. ガッタカッター上での計測



ガッタカッターの計測ゲージ横の溝にストッパーをあてがい、オピアン・キャリアー・スモーターの先端からストッパーまでの距離を正確に測ります。

左写真では、長さ6mmを示しています。

3. エピファニーポイントのカット



ガッタカッターの35番ホールにエピファニーポイント.02/35(ペントロン ジャパン(株))を挿入します。



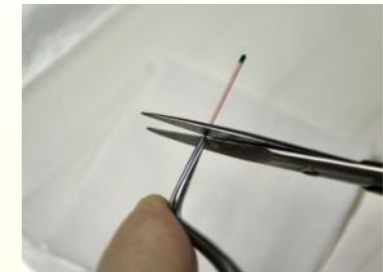
カッター部を回転させ、エピファニーポイントの先端径を35番の径にカットします。



ガッタカッターの計測ゲージにエピファニーポイントをあてがい、必要なポイントの距離を計測します。

本ケースでは、根管長が14.5mmで、オピアン・キャリアー・スモーターの先端からストッパーまでの距離が6mmであるため、根管充填に必要なポイントの長さは8.5mmとなります。

(根管長)-(オピアン・キャリアー・スモーターからストッパーまでの距離)=根管充填に必要なポイント長さ



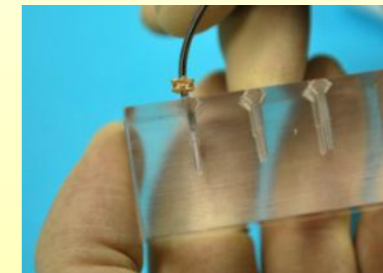
ゲージ付 エンドピンセットでポイントの8.5mm部分までを正確に保持し、カットします。



計測しカットしたエピファニーポイントを消毒液に60秒間浸漬し消毒します。消毒後は、精製水で十分に洗い流し、乾燥させます。

《注意》
消毒に次亜塩素酸ナトリウムを使用しないでください。エピファニーポイントとエピファニーSEシーラーの接着を阻害する恐れがあります。

4. オピアン・キャリアー・スモーターへの装着



適正な長さにかットされたエピファニーポイントを、ガッタホルダーに挿入します。

オピアン・キャリアー・スモーターのプランジャー部を引き、スモーター内にエピファニーポイントを挿入します。



ガッタホルダーのホールは2段形成になっているため、ポイントの長さ1/2程度までオピアン・キャリアー・スモーターに挿入されます。

スモーターの先端から出ているポイントは、滅菌ガーゼの上でスモーター内へ押し込みます。

5. 根管内へエピファニー SEシーラーを塗布



根管口上部にエピファニーSEシーラー(ペントロン ジャパン(株))を少量塗布します。

エピファニーSEシーラーはフロー性が高いため、少量の塗布で十分です。

《注意》
エピファニーSEシーラーは、ミキシングチップを装着する前に、ベースとキャタリストが等量排出されていることを確認してください。